之是是在、殿閣、鳥越三路長以

四個四少佐 深田哲太郎 図館 少系 魔安 霧郎 唯園

に御親拜

五日紫時屋里省皿びで省間局よ

展谷、南部報道班員

品日後」わが

日間にしてモレー、ケネデイピー

ール要務も略落するに至った、テ

間に事めつくその態態を整へ階後

一成波徹に採用した線形防禦順をこ一波を持つのみである

攻陸の前には彼等のこの企画は漫

を無へられる米ン借款協定とつい

「リスポン計三日间盟」最近改立 米ツ借款協定内容

なく、物音の強ソ輸出の形式で、情感は現金による對ソ融音で

西亞インフ

盟」カイロ來配によれば米英兩國

今回の通路家は略米家を基礎とし

「ストツクホルム廿三日同風」米

國際通貨家に英不満

英家は殆ど全面的により去られて

一般が以下ングの複数をは、ツクス 関型、ワシントン変化=米速率作 関型、フシントン変化=米速率作

戦およびその後トラツク島攻本年二月マーシャル群島侵略

等の機を待つてあること比々に貼っている。

胃腸。

この日も同郷山は全山を繋げて

際における日本軍との交戦 りと至る期間にソロモン唯一

人な数にのぼる

九四二年八月から一九四三一間を一度村に選した総底は九時元

十分同所殺一路三雲下紫癜山に向

全家

戦闘

配

品更要能多心理

した將官以上の当が十一名に達めて有力な難談で、これを指揮

あた、<br />
激歴を<br />
迎へを<br />
同山では明石

骨組を丈夫にする

られた肉太のビラも感激に光つて

人きかつたことが想像出來

作業羽場を巡観、倶楽部で少越後

仕室隊の分別式をうけ、岩田鷲山

長以下の見送りの狸と、午後一時

とによってもこの様は前

マーシャル優しつスポ 語と對して下院方面でも不満の

してあるが、わが諸僚の皇後を

送と切ってる雨平を唯一

幕

四型隊に對し漸次包閣鐵環を開極 必少の地域に喪集する欧大軍の城

陸麓、インパール南飛行場連襲

個態型司令部は廿三日の公報で次

一、米國民問題心と對フビ ーパー派はその内容として比

僧家協定に参加した米爾氏圏 間接税、借款、銀行、僧託などに

[版]を聞く接定と似へられる、曹

**約が包圍下** 

押あらせられる。同日された 大事陛下には同節計に行幸、新一平宮相、無否居従武武司以下快・渡相、澤本大衆を員長以下文武 現合、南部報道証量 「関度側線OO中島」、C同要態を占領、大る十日中央突 出り、御殿路を併國神社に向は を眼下 期官ならびに禁道に採覧する新 祭神造族の経辺を受けさせられ に制す 病國神社獲得選挙あらせられる

原を暗空中のわが脱闘機隊はイン

機五百は廿日末明に至り遂に全面

同盟北のコヒマ攻略を否定し破け、引かせることに開起となってるた。指定を行ふ

【海州にて」宮崎派風破】失成屋

や距司合官の派勵文を投下するな

大中爆十三を屠る

トラック 州九機を邀撃

年前までは一年と三回以上の水器 側部落に革を止めた、同部落に十

多吹響器のにおいて第一位を変 得した態の臓村である。余野永保

つて領國に組累公するはこれの消儀であり、美しい行為での消儀であり、美しい行為でされた、皆さんが漢を土に打

大同江を渡って黄海道に第一歩を方初巡视第四日目廿三日朝十時半

**芝田中政務総歴は碓井知事、** 

「信川にて」「宮特派境後」西鮮地

兼一浦日鐵工場へ

卵も劣づてあない、皆さんが、皆さんが

※ 層の私共も語君に負けら 組んで一生味 前断んで

べう御撃公をしたいと思ふ

人の原明を画く温暖浴の

鯛の生態に全感を打込む路脈脈、

郷工場を視察した、日曜日もなく 開語版的官等に出班へられて日 隐然察部長、今坂日銀所長、岩

中村滿製縣珠式會組取實土

のであつた、整定以上の時

、純真な型村人は涙さへ光

集団所に小就して一時出鉄、高龍の配型工場での他を順次試験、山の

國民學校でおける沈村農業批准隊

一千五百名の現形なる分別行進と

反循り不均四石三斗の成濫を改 多収別が落として資産一金と思想 一振され今や全暦でも高級の無路 コヒマ周邊掃蕩終る

機を終上二機を階吸し、おらに

レル道を北龍中の独自動資卓散終を爆碎すると共にインバール、パ

四六一高地占領

ロの要衝ビシエンブール附近で

展開中である

國内民衆の動揺防止に変めると共 にあはよくはデイマブール方面よ

のである

厚生省、

二日北部安隔に來遊、原住民間に

が外の時は金部语で悪して

網は後より早く田圃で出

と挙じ遅れて呼ります

【東京館話】顕紫ヶ社の第二次指

上洞部落民を激勵し

下聖鐵山視察

田中總監 黃海道初巡視

の男も女も属に打つて一丸

つた、なほ廿五日は土城方面に向 場を視察、同五時半宿舎征屋と入 照進海州を展望、龍畑里の慰民道 し、次いで法院より南山に向ひ、

心になった対し

けるので一生の念

況の報告を受けて一場の訓示をな 以下道路幹部職員を接見、管内状

文献 東京京開始西八十編 東京京開始西八十編

製法による哺乳動物活性炭製剤

胃腦カタル・腺病質・消化不良其他

慮いて私共自身大個に働



サイボム附近の第二線触地に激火 後の一概を試みんとしてあるが、 最高降テグノパールを失つを敵の

激成十日間、ペリンの縁の樂宴窓

空殿によりその一 機が来選、所在部隊はこれ は一回にわたり出些、大型計画へ 物と輝けられてあるが、廿一日夜

通りの整備を順用中である。 ・ラッカに並する繁変順氏系統。 2十二種が変態、みまが在準線は主部に開設、一方は巨田平前メション部に由

これを邀戦、空職により一里にそ

の十二億を監修した、わが方自織一盛、二磯を鑑唆した、わが方地上

ず、昭和十年に水利組合が創設さ

れて治水施設を行ひ、次いで永保

に占領、山中に迷り遜な敵を引燃 急追、同日正午には同高地を完全

## 廣安壽郎少將以下 優賞百卅六柱

「なるので表す地へ、その心臓を認からしめ、する量面の感染を中央に宣摘し巻に臓器差行の人性と加し、関節に続きる害態にあらめる危機とを語じ縁然らる米部間と新しば血血雨の臓器を乗べ、暫に加し、関節に続きる害婦にあらめる情報と参照しば、との単さ、単分に質問大学は方面で臓に動きなる。

順の光楽に沿したる明土は功三旭。下田富力中ド以下三千廿三名にして、このうち武功時に拔削 智烈和学の洋上輸送機に活躍し他職を奏したる職 支那および激州方面に活躍し滅々たる武職を奏したる者も多数合まれあり、而して輝く金甕職章故

中不幸病院した下田寅カ中時以帰の原命に浴した約11は、作脈

響派なる際官を押し助管政

干廿三名の勝士で特に武騎

能関係の分左の如いの大東郡戦争元歿等職功行賞 (北南新興部下元川面) 松山

同

(新田 校云 景) (新田原東) (新田原東)

(成開始日報建立的政策的) (成用的现象的) (成用的现象的现象的现象的现象的) (成于两种的现象的) (成于两种的现象的) (成于两种的) (成于两种的)

(華麗美術学科田) (華麗美術学科田) (華麗美術学科田)

計論

◆民間有職者

高橋 敬壽

同同

でも狂を生じょうものなら一大事。母語に遊りし咎るやう措践することが、直接観話にか 立等に関する強励が至年業は工場 、動勢機能の路場、動物生活の館でその功を概念するの方能に異全 何に影響するかを十分に認識し、 酸薬或土をは間吸嗽し、更に追ん 般人も動勢の國家生を、 型型型 差佐忠太郎 新選 公型人主 等記田 達郎 東京

れる如く物の生産は一に人間地 に放して扱うとが出望で、幹部が の原生施設、災害防止等に関 際がはよいと 含ふやうな 概念で を場合ねばならぬ。物を生産する

言ふも思なり、民一版の光流 冒切出された。新祭師一萬五柱を

食は必しも大物小物によらず、兵<br />
につき目下研究中であると言ふ。

際、解説するためには我も亦治大

製成士を増配に減私拠身セ

標とした技術果敢な事業であるこ

延身し得るやう的競技融資の混高

門神祇に流のるも語の新祭前間と、城、この自信、日本人である県り日本人をある。とは、明治し漢へ』大瀬公のこの主義主

と問名では悪災を別かるべしと はない。『正成一人だに生きてあり

300

勞務接護會

急設を望む

からないが、既かるところによれ

ものであるかは具體的にはまだわ

るの決点を一般歌画にすべき秋で

る早秋に挑拭せればなられ。野新

間を終げ、縦つて欧路波に原道す

際にある。有別以來今日程照國 大東龍蔵筆は文字通り決蔵の最初への反攻は日一日と無熱の度を加へ

廿五日午後一時十五分、御製郷

今必要とする歌の計畫生蔵と生が

図の思察に衝撃率あらせられる。現間の影局を正しく直襲するもの

るるが、陸軍省では石に関し異別

おける足力援動および印象と

を置して第一線に對する頭葵補給に限したるも遂に函媒の孤島 頭肉は幾を回して克く第一線滑上は敵場、数滑水艦の眺壁下、上は敵場、数滑水艦の眺壁下、 である、各船負鰭士の決定的作に堪へぬ鑁多の質例に接するの

この一年

代田生命

では、一般などので、一般ないで、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般などので、一般ないの

空月十八日附の回答通牒に表明 されたフィンランド政府の態度 を発言した 休戰提案拒否 類辞 一手販賣元 別辞 一手販賣元 別辞 一手販賣元 取 京都 三置薬品株式會社 ロ 別辞 三置薬品株式會社 ロ

船和迎空宫祖第4条 新寶 雅友 路里心佐 小谷 公正 **太聖** 養學家城三·1·1三番 養學家城三·加州

本 2000

◆加管

△家議定等の方はお試しあれ
△家議定等の方はお試しあれ
△家議定等の方はお試しあれ 說明書進呈

なら四中に一日の森は慢性に で御治療下さい

大日本藥品工業株式會正

《原北东東部南後面光宣》 一亭兵 權 泰

總督府、軍司合官を訪問

山下査察使、隨員一行も到着

帛

· 一管兵權· (優北談谷郎若不聞

(本商學成都通內面)

心を、同十一時世司令官を正

同長網局飛出中広 田川 周吉 內蒙省 經濟服長 金子瓦太郎 源北省企业局架之 江口 清空 電影響取大店

が感じたが石に関し情報

金四男(思語山窓伽東面)

野村武雄

内で炭山を観察した 題み、終って訓示を貶くて三時半

高峯 (釜田府艦川町)

金鵄の譽三千廿三名

第四眼間登石の人柱となったこ

れら勝兵で対し、今回長くも論

船

長に功四級

强行揚陸《散

旭

とは、郊下緊要が中の曖緊張であ

岩里大學 清內 著三

光点方法的音音的音音,一位是 死疫者輸功行為に属り岩佐思太郎

男猛・将兵に劣らず 陸電鳥輸送戦士に感謝 著ならしめつつあることは何人

海上 安田 史明 人名英格兰 医乳 安阳 电通路 田口 島明 學一個 歌を担否した高級家した、有公報 休職に刷するプピエート政府の提供は十三日 エンケル外相と入もに三月廿七日 人民委員から休職条件を受け取ってスコーを説問し、モロトフ外務 ランド國質に附職したが例前は 学質を明かにしたのち次の通り インランド政府はソピエート 一芸蘭正式發表

> 南京虫殺滅の関連に撤い、高温の関連に撤い、高温の関連に撤い、 て終る。安眠可能

研理

行政協議會長會議

勞務問題、 右に伴ふ 食機配給問 る中央と地方との関係、思徳動員

**债八億圓發行-**大東亞戰爭國

は三月一日及び五月一日の二回」り添散決定が見た徹底修譲に励する時代の格額問目励につき九十人 し過数決定が見た徹底を終じ入間、利息学三分元間、利士安孫 の献心を子れて孔説明、恭勝に入意だしている。

**豊影を密官匿施する** 

遭夠限昭和三十六年五月一日、

り國際情勢、陸海軍官局より最近を開東、ついで天郊管廷信徒勢よ

勤皇精神

と朝鮮

明治維新の原動一会哉』といひ、李煕谷先生に就い

部

吉 雄

ては「夏城同心、既に此の説あ

思病薬説の層値を上下してある 山崎先生の感は、一方、水白桑 に影響を 見へた、 それで 影考館

る、この様に見て來ると、我が國

型に人が歌組を入たが屋

の道統に、朝鮮純陽の思想が、一

元励元田太学先生があり、同礼

も送災先生を斡載してあるのであ

の売士、時に水戸の売土道に愛用

および日本銀行引受により左の如

大東部國庫依券(八號)八倍國一相より須下内外の情勢に属し所見一種行した

**基實際以首相同因乙開版、東承首** 【東京陀語】廿四日の行政協議會

の諸問題について意見を必須して

三、指字質性の數位單語形理語のの整備と相俟ら原際所能にの數位を必要所を批注の適 であると正かつ関別なる運用を刺すると

**門へ大谷野工業へ近江航空工業へ** 

第二次指定軍需會社

四

·(=)

表を網羅する『微緊急大増配続起 獨議會 を設置、現場近限を正確 鐵鑛石採掘好調 契頼部門における夏季被薩防止と伴ふ品位の引上帝に修送問題 変運動!を全國的に展開、國民の一郎から約三ケ月の後定で『海島元

に民間諸照牒の協力を得て五月初

行と伴ひ、表る一月十七日三重端。してなり、航空機工學が高度の総合に関する。

動力部門を新に包含

第一回指定單級會社と第二回指

と難も嫌ぎの眼をみはるに違いな いならば、恐らくはようの患者

**神見先生が『赤心部図』の四字** 

新七篇々、我人の耳に、なじみ深

され、その練習無垢な血潮を、限

の無額の関がりを持つことを明瞭に知るとなったが、かかる史書を書稿していることを明瞭に知るとなったが、かかる史書を書稿していまかなる史書を書稿と、半年の上に生き、程をはつた網館の無額の可能をも正しく詩感し

だが、動量思想史上に有名な

めことは 勿論視に重略 意能と

産を見た、各類山の前年度比質領 つたが、下期は十九年度の頃面要 においては前年度に比し不振であ ハ年度の鮮内観耀石増高は上期一新切存養行を続いであたが、廿日 十八年度下半期二六%增産。 より見込生語域に基いて新切符を の盟綱宗型混を取願め、内地並必承に一半期毎に顕工局が各局 國支部に洒躍した、運動の要領次 海上競成、青少年海洋遊場銀成 青少年を対象とするもの 中

定台層は全國儿クの軍際監理部に 會社四百廿四社を新たと指定し指

く軍器會胜は第一回指定分百五十

第二次指定軍需會社名

関語的工業人類語機械工業人類語

一路全里線工業人的和稅格人的和

おいて各監理部長から強祉代表に

となり、その方針要領を廿四日全 機体採身の決定を積極的に促すと

諸殿の準備完了したので廿五日軍 関係各省の間で進められてゐたが、 回に指定すべき軍務會社の監衝を 會社の第一回指定を行び頭來第二

が、などの動力部門が新たと包含され、また決勝増高の急速化を期

これが芸匠をなず鑑取門をはじたのの形偶的問題を押するため、力の形偶的問題を押するため、力の形偶の下に選起した

戦の基底とも何すべき石炭、豆斯

保各省の間に開磁を重ね大更次の の第一回指定に関しては通販来関

進して戦きをいと考へる、

船へ京都機械へ京都互斯へ金門金

が期受すして掛けられ、其の段説 かに李遠宮、李聖谷の二艘間の名 あの洋原格歌先生の「弱歌道言蹟

沙らである、開御先生草、深く

山崎先生の間接的な影響を受け

よりも、 君臣父子の道そのもの 者であつた、 孔子や朱子その人

の新神・

を植立する有鳥の真面目な

退後生は他めて神路な遺跡

とである。 地下数百尺の下から風

関係を確立してもろう

髪の一の車要な描程となること 開目に基國の逍遙を確立する資 取るべきは取り、断るべきは感

に繋が

となすことは、朝鮮の料陣力御

とは、特に朝鮮に於いて敗めて脳 に朝鮮と深い関係にあるといっこ 原動力をなした瞬門の一派は、変 が出來るのであるが、此の維新の い謝品更上の人物を別典するとと 內式部、類山陽、梅田養器、有局 層派を汲む先達に、山形大町、竹 製谷の二 先哲を研究した、 時門の の結叛三星間瀬先生るが、退済、

ら、誤談先生に願る私撒したが、

が優別に紹介されてあることを

削ち、李道漢先生に就いては、

合工業をお断に立向して全量層工

軍需省當局談軍需量

ためである

かつ版れなる地域に降ってある

際、圏、海、墨通四省開発の軍器

展度を衝撃し貢貼的網路を行ふこれを影響として事業計群の緩 間一の設定▲海洋位等者を對象の募集、混員に對する『脳訓週

心として數多の産業部門に及び、

とならびに指定領社の数が尨大機構が最近機構が最近機構するに至ったこ

生職業人皆侵數網所人失射數作所

大日本 機械工業 全大日本航梁 4

概楽、ゴム、重幅など航空機を中 院、 京湖、 空念屋、 化型金属工業

· 原第石油、石炭、瓦斯電力、濃船

殿の意力人を網種するご至うた を活動名の管理管元は廿七日村 で行けれ、更ご明回と異なり指 で行けれ、更ご明回と異なり指 行けれるのは、これを範囲部ので がはれるのは、これを範囲部ので

比奈徽工所入朝日國軍所入朝日長秋時機衛材料工藥入秋田工場入前

大國紀所全部州區第二節全 川恩芝浦ターピンム伊藤総蘭所へ 一所合川製作所合原原製合

反繳工所 4 秋田迴船 4 秋木工築 4 大学知化墨工築 4 青森縣通船 4 示

祭機の部分品および監船に器、機

今回指定を受けた軍院會社は肌

七十四社を敷ふるり至り、軍器工 社に今次の四百廿四社を加へ五百 の態態、規模の如何に関せず難し

新たに指定された四百廿四社名

会社職務を所会が節動る

これと取組んでこれ の陰路がある、先つ 時下において、棚々 労権など特にこの取 こ口にいるがこれが

各道日程、廿五日一五月四日

■を読み合き十九年度四一年期の わけである のでは本年度の解析生態ガンが要 産業は高度 のでは本年度の解析生態ガンが要 産業は高度

府尹、郡守、島司會議

は関係と借ってバイブの太さが足 に取替べるとか、また先日繋によ

一込んでをれば解の器」には大概こ これらば半鳥の領域を十分にのみって一部電気に故順を生じたが、

大日、東南道五月一日、成北道一大日、東南道五月一日、成北道一四月廿六日、廿七日 京殿道廿六日、廿七日忠小道廿

の間各道側とおて開催、道知事會をとなける機管、速度の順示に基

司命職は廿五日の忠南、全北南道

を度切りに、五月四日に至るまで

本年は特に貿易及名詞より発信が出席し、末端に対する練問とる練問と認める

肥料・飼料の確保策

策の内容

金肥に求むると函館なる事間ある

等結の不同沿等により漕しき減虧

らし何役能率の財進を励ること

関格の選正を願り以て金肥的絵の

(四)配合肥料對策

を見つくあるも食物母院の遅泊せ

原料の職集館、工場資材の大手館

も其の質要性に極み金肥の増産に

配給の適正化、應用法の合理化を一蔵を以て郷、石炭、物金属、飛行財しては極力とが頻繁を帯じ見つ「る場別に関し政府は此の際一大英

関ると共に其の不足をは自給肥料

して会配増育に関し辿かに通常な

四一半期鋼材の 一一二三三の一一九% 西二三三亥▲三和一六五系▲近 発性統制の一元化と伴ふ物格 新切符發行

に於ける四四年四の網杯切符は四、

数切符は全面的と一掃され、運転がくて生職の陰路となってあた浮 重響は高度の計整性を附與される

を矯正せればならぬ

三、勞務者の持つ能力をこれまた 三、原料資材を光分手幣して限り 一、その現有酸脂を百パーセント

報獎金制の び生として今後の

屋

管である、要するに設備について

の際大いに必要である。また工具

といることもいひ得ると思る、本

行機が発生のとこというべつ

テリレた自然を持ちこれを立滅に 延いては國家の最も必要とする飛

で関することが半路における幅金

古一層深い主意を持ふと共に特

なめることが続であるが、特には ある、これにも特神的物的の配面 から、これにも特神的物的の配面

い、この脳本社工場の運給を緊密 工場なら工場、本社なら本社とそ 此を東京その他にすることにより が内地に聴べて非常に個機である

緊急、用水施設擴充

にすることが必要で、このために

| あら未然に向かにしてでも続ける| 本替をせるにいるやうなこともと | べき動でそこから帰帯域、均線は 悪いては国家の集も必要とする他の種の故障に毎年即るものである | 棚里で棚屋心を担合されば御味に | 野的に大原館れてゐることも考る | ならどの地震は幾何に形ない。

へてみよう、境前と 輕金融増高期間であ 生ぜしめぬやう仕事の進捗振り

などいか問題については、特に協格とない。例へ ある、現有設 と充分に睨み合せて領充を充分 館の少な作 いのにいかや 神的物語の1弾が乗げられると駆しせ物に向らか信息一数の適切な機能が約01弾が乗げられると駆しせいる修飾薬をもつ工質に関して 烈なる順況をよく図職させると共 すことが大切である つところの経験を前数有効に生か ふ、精神的方面としては現下の苛 工員の移動防止

いので、国物的にも光度してやら とない思いいと人間に 的では他の訓練は最早多くを必要 があれば 日本人である 限り利神 に件を登録によっている。場合 神のみによって生きるものではな に日本國家側の正しい担握とこれ

おはならぬ、本を本地と一項の地・かさてなるない、自分が木んだしいのが、本を本地と一項の地・かさてなるろとい言かが木んだっているのが、 開補の港、開館な配力と立地條件 門と原材料の連般の船が形成されば比較的良好であるが、たど地理 胃線沿線は大同江の水、県山、緑

由來半島の特性として大概平

第三の原料および重林の問題は合 分類りぐらる体心だからしなど からして能器の前上を関ると共 ら工風の末に至る窓、 例へば 首 に各自の遺伝を明かにして批長か することは是非なさるべきである

規場の把握や工場との接觸を密に

常に本社から社長なり軍役なりも

法な不費をお明なしたい

四番化して戦くと共に上水道、特 あるから、物質配給な出來るだけ 概念といと思ふ、特に工場確設に 事のなみくならの御屋意を深め 整個下以下各個保管および本南知 終りに中国際金属生産に対する機 よって人口が急激に膨脹するので すると同時に今後一般の御交接を

□ 五七七、四二八十五日 □ 五七七、四二八十五日 學會 **現行語推移を示せば左の消り(町** 消極略と鮮卵袋の交換般指による

れらについては今回の機構影情の

して、顔がと眠ってあるのだ。そ

·[] 剪 **爱**引

西語 後 二 寄

3

の地域をく数日々と呼ぶのも奇し は発来の応士前が目子の残石を接

は魔、精、 たらで厳に、

べきでありう人変地

では日、脳関の英順に被引の歌を崇 では日、脳関の英順に被引の歌を崇 するため一層に休息する 金融機関は一切鮮金融四 廿五日休業

朝鮮住宅を贈の十九年民以業計能

貫統制へ

に買りて大利三分の二つつ分施し 形成羽塚窓に元配と温肥とを三回形成羽塚窓に任りては幼穂 天水省に任りては元肥を隠し一番

除権期と効果形成期とのご回じ宣

一般的解用を整すること

(5) 懲責必動に依る配給機整

の 
即は土住、 
作物の 
特性と 
依

(3) 作物の種類に依る配胎網路 (名)指導力の良舌と依る配給調 (1)水利の便声に依る配給の瞬 的に實點配給し次で水利不安全 じ空間の困絶をなすこと 金肥の有効なる施用をなざしむ 原場文は機良地主席にして指導 施門困難なる場合は第一回除草加 反戦し内部に金肥を施用するこ に後水となしホミ打等にて土壌を

を終て間立し

然るに現下の状態にては肥料の増産 て之が拡戦となるものは努力と肥料

の元代にあるは国を疾たざる所なり

成すると能けず 既すると非されば地形其の目的を強

> 他に伴び答りならざるものある 肥料の増産も亦時局下騒材事情の の境階に求めなどす、而して自給

(二)金肥の輸送隘路

利用を刷る

の手数科以入版戦を來すべきに 関数をなすこと、石の岩景系統関 る配合肥料製造事業に付ては其の に極み常分別結膜角の細葉に深は 配合肥料原料の酸石的供給の現場

(へ) 海上帰営に付ても帰力其の なすこと

金肥も重要産業

配合肥料事業に助成

以上の政情に認み球団法人朝鮮男

子機造

党すと同時に限局の解消に伴び始大

が、右陸対策の

民民団の町上等は負ふ所成のて大な、「朝鮮網路小海頭取開下物の光足、物質検察力の増発一般図 會長 高宮

根本理念・二年に至る十年的は年の影響

至れるのみならず縁差に於ても被 受け急遽なる供給の数少を見るに も昭和士二年九至前士三年にだて 般高層に建し、以後時局の影響を

(一)金肥の増産

製炭左の如し

四生 第二場への配車には成る可能の影響増弱を開る目的を以て金い

現在演奏中の頭輪中央配料配料配料統

期極送をオイダ最後の荘厳を持る 合せ物語の計画化を開り一般の単なるを以て検認証路の関係と読み

3 9

(三) 金肥配給機構の からしむる際其の筋へを含する

決戰下

肥料對策

於て約三年期づくの増加を見たる

來に比し過せしき隔略を以するに

その連絡を一層緊閉にし関車の表の部化を網る必要上層道性局景の部化を網る必要上層道性局

て命の論語

(五) 金肥配給合理化

點を実施すること

の固滑を関る陰便器に関し圧の指

(チ)船車像金銭送は局の協力と

金肥の検送協路を打開し取力検送」、策励しどが製集に周囲なる注意

を持ふっと

合を見合せ戦肥が給に切断へをな 用の河班を失する駅ある場合は配

波と脱山南面の接送離とにより従

二、金肥對策

の打開版を続するの學あり、其の至りたるを以て、出來的る限り其

世一百八歲四百

又肥粋問聴解決の有力なる一気を、ま方限を得たるに付、御高敵、御秘

概の上海切なる御船前相仰度献策す 財富法人朝鮮東國宮太平

るためのか

開始に加力 のが総督府の

**新教育的不然**自

は無様に成り深層に脳門し直ちに 源水を行ふと、但し植付前に深層 をりて水利安全事に在りては元**把** 課権施門の有効なること明からる (六) 金肥施用法改善 期に近づつき配給を行ふこと **密取別所名為自休場と江岸** 

(ロ) 物芸術と働する部種の後間(ロ) 物芸術と関する部種の際田恵丁島

ること

り消費地への徐差に時日を受し施

SUL ST

のでは、 住宅營園評議員會

る点状勢力の高率を用と生産工程 飲酒預化し、手持資林の相互献通 と保有する。物技術の公開を積極 鮮面深度構然制制合の研究部盤を

取引所も休場 共音は 角を脂力に推奨することうなり

自済を特許を耐しないので、技術性友を願い、石井物工の製品は何れ 致に決定した果本郷郷、空が工、 とせず、從つて生蔵数の坩堝を招 の交流公開に伴ふ損失補償を必要 利なので、機械統制機関をる明 く緊急はなく内地に比して條件が 温度的指摘を強いである、今回器

交向じ光楽に近くと思へは戦後 殿立するとき、東山に眠る志士も 御別類を限った勝刻神社の祭神が勝ち抜く必要がある▲提くり 時に、我なはこれら先人の形にも のないのはおはならない。と同 は今日一切な他の心に生きてある って、鞭気型士の脳に通ったもの

一模人與田自助發榜與作所人對年。 第人特殊較合企為田製鋼人與田 與山國國人會山國校人將疾航空長 與 鮮銀券は接近膨脹の一金を辿り、 在一日本線型製造自本制動機合日本制動機合日本制動型工廠合日本線型造合日本制動型工廠合日本線域 日本温管工廠合日本

脹。紫銀条膨

の堕織化をはかることくなった

一 生態事態の活然なる流過と他自溺 ・ この飛躍的財産の主因は鮮内 ・ この飛躍的財産の主因は鮮内 照公司七十八年本の間と 交後 持織、廿二日緑越の越行高は十六 本月に入って十五億七十四回合を 第一の統制組合が存在するのでと よび紙織物についてはすでに全関 際については除外され、また順お で廿四日附繊維局長名をもつて地 方長官知道牒した、なほ厳権統制 合に抱指する方針で成果を得たの 道所願を單位とする「本の統制組

活流 (世四日) 戸太陽保に いに指々近況を呈したが、体便は のに指々近況を呈したが、体便は

えない。たが、そこに

めつた

きならない 技術を公開 資材相互融通

更を開放して忠威を八枚に嫌かすし始った忠烈の土であるから、米

門化の鎌密域として、手投資材の 相互映通と共に保有技術の交流、 地有力メーカーの鮮肉進出を敦極 可要機械質の総給。避迫と対象し内 るる維西メーカーの生産性可上以 成内地脈消誘致を被に べき、日の関手を地下から眺めい

ぎら日になんで現に光りを放つも のがりとして云ひ変す▲この九段 桐木正成、北川教授と次々に四次 のである▲隣原鎮足、夜間道は、 の精神は、神武天皇の御泉征に従 腕を備してゐると限ふ人大着鳥の ひ始った久災の子から代々らけつ で達ぶの容量上の登場とする数因 尤段で達はうの合言葉を武人 **MOSE また、お客の日本の** 

もが行を飾して御殿政の創代にないてあるが、いつれ 呈 肺病治療。原 

〇、略向の原因と近血法 ●確じでも入れる原理と効果力 ・下痢と腹形の治し方 ・下痢と腹形の治し方 ・下痢と腹形の治し方 ・下痢と腹形の治し方 ・下痢と腹形の治し方 ・下痢と腹形の治し方 理 刺 戦無(
本が作用無く、老人
で制作用無く、老人
で制作用無く、老人 刺激トミアンオフルス製新 





|| 字正の縁、場呼瀬夫哉、『呼淡 つたと量器は考へてある、され その逃野先生を歌仰した人に、歌いち、音経漢先生に親しては、 を通じ、文別を通じて伊に郊かった。遥漢先生に郷る私郷したが、 汲飛行機△東亞配権製造△東光館 | 製油△浸渍機械工業△貨間光度器 版合外部 **今世層製作所 全町村館票 全町村** 繁全日本 鹽瓷線 全日本理化工業 海合本帝朝城 合本帝朝後油 日本特殊工業人日本陶器人日本開 本的的人目本的解認為所入日本的解認。 いが、其の道は密接に最適に繋り ハロー工製合本ペイント 合ぶパイプ製造一合 第四において歌語である。 東州において歌語である。 東州大県、高井町敦穏を招き幼児 東州大県、高井町敦穏を招き幼児

[중1] [[총] [[중]

"後倉工道優合主航空 △ 展上場工業 人未金軍工業

個梁人目本品願セメント人日本國

第合領官化樹工業会隊消散機会プース・電子開設プイルム工業会隊超工

製劑 森下仁丹

著一指 効切の ノに病 やけらりまし

かとしてゐる、庶機とい

せしめたものである。 た、 即ら一切を繋げて我が としめたものである、 而も

(報答は城大教授)

やくす打刺

G17所、本南、、岐南の各道人脈形在他の近郊に設置、近て附所を否る歌曲訓練所受け出さらとする 鰊成道場ーその名も 暑しきっ健医修練所やを悪密行が、京媛 顧陽者と結核を眠る解後から一掃して、展開の成力に大和湖のこもつを駅の値を

で要弁にまみれる科製的な膨緩を

んで原生へ厥起するものである

カ

藏、於、意 聽(屋

と共に半勝の像兵、衛民道成へ積極的と乗り出すことくなった

健民修錬所近く新設

なり島圏悠久の境膜へ客肌もんと一度崎の三つに分けて開発は健

/空百名を收容、六月には念

もので、修練所は常に服正な

つた、別網会前夜の遷遠式の感激

の文人を各地の世界を発出へ派遣

はるぐ山形版から年間のお目が

山形の翻導隊入城

戸廿五名の先経験である一戸九名

來れ女子戰士

えに御手本を示さうと言
月初め

第二陣の人々は一緒に揃って來

速信局では女子解説の大類採用を

遞信局呼かく

A-四四八〇

高 ぜ

は腐々些かの減みがあってもなら 年金等による直接成力の培養補給 行ふことになった一郎的、間保、

つて女子の進出が容易であり適

★ 2000年 (本南山) 四月廿四

開北南、江原道韓原西で脳影期を渡眺した衝撃臨家の人々はいる敵

控へて係々として随新にいそしん であるがその第一陣である前海道

野米英語域を心中深く響び撃

能の態度、高一、陰陽の金融連続

と聞った

勅使退出 靖國神計臨時大祭第一日一電送一

使物 [東] 國五柱の新祭前が | 東] 國西社の新祭前が | 靖國神社大祭第一日の御儀

【東京管院】別はの英一年東係照相、嶋田海相、郷本大祭、たる喇叭のはきと共に陸の精鋭の **委與長、實際**原京師卿長宮殿下以 合祀関係部院など代表者が経歴所 ト陸海軍武官航祭件文官ならびに 揮成器形なる軍閥行進曲に合せて

> 明の昇酸過程を許され歌歌な芸師 岐阜、京都、山梨の第三師が失々 が、京を午後は南瀬、岩手、扇島、 も新たに物殿の第一瞰として第一

90を神と迎へましく半島道版選

さあ増米、百萬石

De.

い職場であり、既に多数の女子 所も多く動物挺身の女子に相側は

野草を摘む會

かな人間が原城をはじめ各部市の

(詳しく知らたい方は同所へ大阪市東礎川区三國本

究

所

溜池工事計畫愈よ完遂の運び

るが今度速信局では出來るだけ女

が決戦下事実な経過がある食 が決戦下事実な経過が滅で ではこの食用

お音所を聞してある。特に伝うれ のなに自由問質の脚かた地気が店 であるれるなどのかと地気が店

月やく とごこうのお困り

中尾本

佐装員が組入の資務に形はつてあ

は関民、動態は、駆使からなるをみせるであらうが、この結果は関して気が火をあげた小溜池工場、の小溜池によって送時らしい成果

が、この情な

女子職員を採用することになった

※る三十日素酸で『食用野草 ・家庭の食生活への利用をは

た帰しい規則を総督所處務職に考

生の手に機能して概ふため大概の

「東京にて田中特派員級」類し会

月中旬ごろ恋歌の選定 ★滑川士郎(摩山)その他は六東路(忠南)五月五日一十二日

情點加山岡松瀬里へ入植する五

治座で觀劇

関も消じなく終り絶別

定の座となく、生物九時段きなり 玉帛を盛りて無臓、臓いて咽海軍 御幣物を解じ過避、御祭交を奏し よの範疇の製匠第町公園等単は でで服友の御魂に歌遊な所念を修 敬虔な祈念の波 を行つ池

に打総へる漁派をもの明礼の身骸 ししがない、大鳥居側に遂げられ、「田の竹町目動田舎町を仰き漁跡、ど無郎丁宮貨撃の声歌の流れは果一日の竹町目動田舎町を仰き漁跡、ど無郎丁宮貨撃の声歌の流れは果 れ殿開始を開辞の産器成士防空服 ではやジャく一般の強硬が差許さ 磐球も終れば一の鳥居から採取ま てしがない、大鳥居側に渡げられ にテーブルを関んである さん差が厳い大器の中で所在なけ 今年は迷び子が一人もない、

れた類片は歌絵の類一人がり、午一

長宮殿下裔別勝負も相ついで玉串

大臣、大經委員長、寶陽東京師國

会第一日は短き寄りよりの

の領と明けた。甘留日 海域三国二千歳の成成

前八時命不當司、歐海軍関係官以 を敗かに到行づた、この日間のら 敷原参阿を印名大祭第一日の階階

下本殿に創進、軍機関を製の裡と

棚扉を開き、

開放を供す、同八時一

された、姉妹のレパ京を被る闘吼

権頻管下海軍 部隊の処理が 開始

を躍って無臓終って在京陸軍部隊

各自在所で遙拜

けふ午後一時十五分

要にして甘五日午後一時十五分、他監督に休暇を明る国、親警府 ・ のうけ四日親依方面に浜殿と院 意図神出来学問時大祭の國民行の、第日は官職、合計、副校その

三月末現在でから計解の八階四分

を選抜させ、その後物域い進行は

み特別のあちこちを<br />
辿り夕方宿害

に文人を派遣る学園初

の観兵極在を消じて軍國半島貿の

ろけてある小瀬池工事等の事業は

改良の雄闘を果すのだ、親帝府につぐ散闘士裏町歩といる土地

五十萬石垣来は間頭ひないといる 最悪の凶作に激悪しても平常より

思いるはよい

は徒歩班と汽車班との開迎に

血液型判定

**製電血液検査、寄生虫檢査、喀撥検査** 

こうすると共に一般に際にしよ"

動を置く思った、観劇を終って取 時大祭郡統両脚を戦災、言賢切の 大忠臣福公の湊川玉邨の総古に吸 いけられるやうに戦をこらし、 年夏石衛米をめざして全群にひ

変を文献作品にして厳く朝鮮の昭

四月七五日現在で早くも九郎一分

完善、関係の別域であげることと へ到達。本月一ばいで計雑目標を 昨年十一月、機像府が願起して一

される田祖名は、新しておいたこ

これで合年は早くも感覚れた天候

冬でも新鮮な野菜魚

功労者を災略する

はこの岩子と共に各限係方面の

断然秀れ

た桑葉

村間と、海軍班は子前十時廿一年歩班は子前九時半まで大

商所既へ力相挙入れてきたが、 しかも無質のほうれん草は歌時質疑問題も極めて多く、美味で

機の汽車側で蒸慢で落

「兵と野がた首代と、順間を**発**紙

藤菱度、切れ 地にははや被蔑性が青々とのび、壁では自然の種 いまを続りに使んだ機の影を宿す繁國班共同耕作 石ごろ治ひで選び ★ せめて自然だら

> 広境度を**図る一方、**採食可能な新 >・・食糧目給自足の確保は積極的

関係島の後後で用山

◇…空院地利用も「節後の留守を聴る ものの務めだ

お古所とおくる意味店園

冬の悩みであるがこの悩みを解決

品が全出来をおんだいかる

参加でも関率同機の生**新食料** 

から家庭のお臘にうんと上るやう

ペン字21日間

自災も順関な育成を云てこれ

京為總費 白 **騰濟** 沒等主 秋水 祺朴外科等是 木村昌黨 走廊。宇野眞一安洞區院 及松川明字 医院 京原直德

勝ち扱くための制制原件 食物問題の解決は職事に

られる

ふりかけ繁茶の駅泊などが考へ歩合三根を混じてバンとするか

は現場で林楽治、上田常一両とになってゐる

離になってから場底れた天候は ・酸な脚尾をちの前間に拍撃をか げて近法線れにみる大場性をあ げたのである。

麗麗 京城血

液檢查所 雅山 (甲大門栗房里)

であるが、これは輸送の

胸である ○ 日毎に延び上 まのないがあって 知つてか大地は幾 でもと注ぐ精現を

高くつまれた自給配 が出力を貼へ、うつ

> 比べ網製造らぬばかりか非常に置 きの場が反対吸煙からいっても気 あるが検來比較的附却されてゐた異は概分野の新たな開拓が必要で

からいっても主要食品度作物に

無介類でも何でも一個弦嫌して七

られることになった。野菜は勿嗣 問題領頭らの披起により貯城食団 し同時に一朝後後の際に備へて今

の本格的製造が原城の近郊で

年間市域で耐へ、しかも常水支は

機道場と遅れば新鮮なものと同様

秀であることが研究の情報から

研究の主は東大脈制心長の湯村

く楽ませる。 ◇…如緒が大地を照 料が秋の間でかれ東

股市場にも沿目見得するとなっ らの総定であるので今冬からは一 過でする戦時下になるはし

効生能が<br />
さくやかな<br />
質物にも<br />
脈搏っ 原能の者が淡いこの空間地に映え、原動する東龍の / 約める、一つくの生命が、職器にっちふるへ大

大日本與

**州政策の開催、食糧増産のお主** を開切してあるが、これとく ヒタミンではヒタミン人で第一位 日間、米と次ぐ第三位を占め上

百八十八夕に次いで**を**異な第二 七をり脂肪層では大豆の二百七 七をり脂肪層では大豆の二百七 二分、次いで大日の五個八百七四では条集が第一位の八貫二百 協一選音工英

たけ**受引額全** した上海の一

陸議局校設工業室に對してセンカ 年では家から、 を同じくし、 業家があたが

クヒキウケターの財報が辨び込ん 五十四回を提 原校の設立に百 2. 图图 和 品 年中学副教授立の策が高く、
学問での那般所在地域山思は半 東土を出してある韓山郡は半 東土を出してある韓山郡は半

> (曾社▲四十一周十五後江原道) | 四十三段江原道 品間山公文國民機校記舊一同

恤兵金

古風公立國民際教験員見五十同人人ノニ合井保一郎◆十五國階名

単語界大門通郷鮮林築開被株式會中山黄金町六メー七東定▲五十回

清物乃母部特約店募集

本社寄託献金

て関ひたい~との関射が同い、前間企光東呂比宛にそれば、前間企光東呂比宛にそれば、前間企光東呂比宛にそれば、前間企光東呂比宛にそれば、前間の大阪山地が、横山原祭 | 国西大門帰北阿県町一ノ七八久員 べがノーデ、三枝変子 飛行機敵納基金

関係の三人五ノニ、三枝に兵金(陸軍)▲自國経 4

漬よりも味良く手軽に漬かる、僅か四、五時間でドブヅケ朝鮮 栗店に有り 東亞高工 興會社

行軍、際力量検定種目、武道、角つ生活訓練、歴練、無疑、

練生を個の魅力の推移を廃職しつ 話として最後の意識においては修 國際の本能を主軸とする精神制度 際院に前側した前が生活の使用

ること、なった、個民修戦のめざ

心身の保存者とさせ、駆散の力と、これがため修練原目を開査、指導

音羽侯の葬儀

相欠いで到着なく繋前と参携

青山齋場で嚴修

の規格を定めて職務的に入所させ

十五歳から廿五歳までの内地人は

関節の生活修練を施すのである。

修練生各目の魅力に耐悪した心身

歌を把持せしめ修練の機能を新聞 じ修練生をして終始権力耐上の熱

によって分析的に具態的な説示を、 所劉耿の方法で修衆生の億力の現

上除古と努め、修練生の

明力なる対策を関立すべく、かね

て結核對策災網の作定を続いであ

野大綱に赤芸語核像防機減を企画

「新京府店」施州國政府は基本図

。線前地

查9後餘

平を十九年度初の入所生として収

明七年形には半間青年を一足

際力、原生の語を含むの質問

民動策発行に概念を押することに

関皮郷先の五項目を場げてゐる

果、急性肺炎と診断、町日間病院

等しい銃役物の事が切り落された。

たフラ子さんは正供金一人もつ

生計を援助

智井内科に入院することとなった

氏は京城西大門『魔衆町三の五

さんばルイ子さんの病床に附き

こ一人の子と輝んない愛情を哲

援護打合せ

つて病人の面質を見て死た。二

日前顧客で取人接頭に刷して帰せ 森一門に聞える人類問

開運動と即返して製信局では廿四

長一階の一大家敗をる便兵、便 たが、この程決定を見たので合後 の風のある者と、軽症結核番の

九號宮の筋肉瀬一家庭的料象的優民修練道場とし、

によって整備の資料に張いて個別 不被の証志力を把持せしめ、調査

その修練の要踊は全修練期間を通

年施行の

によって結ばれた家庭的雰囲気を もつて現代料例の到還した成果の る開催的規律の確立を背対の信望

で管無生の起信動作、良智樹のなど、指導部門では個別指導とし **査、形態検査、物能検査、生活関査** 

義、誤解の類正と共に魅力的

もつて近く人所命令の流知器

健兵健民

病見護る戦友の妻。『四世紀』

中国郷井町一の一五一尾島アベートともできる。

それくこの事間を文面で知ら

身的な剥桐は同時しか同病室の

民の選がといもったが全域間を顧 の数に言葉から知ったのはついまた。 競い時目の次りではあったが、 (モシが)等きあえまなを同じ的なた。 (モシが)等きあるませる同じ的など、 (モシが)がきるがよいない 越した戦争的なものであった。曾一近であった。樹める身で長男の哲一その中ルイエされの財動は限に歌 以川、曾田、総局三上帝兵の成友 | 田、皖風昭 | 南兵が版しい飛内生 | 也ちゃん。子と帝でる要の身を釜 国務権強は少しも触らなかった 山府特水町一の七一の留守宅に掛 くことは苦しかつた火川上島氏の

(可謂物便或潛三第)

時半から背山郷扱で暖かに跳行さ

前部の報告はれた

類をかた 日から進しる

三時半から回接

観察の所場、成力の境景、接渡の頭化を三大服目として廿四

な間様的なものであってはなら

不要不能と語わらるる近行が共一つて暗微せられた似友の内に不過一・「「のな神かっただと、胸ての略に」と把握することが比較であり、壁一

即ちたの解析をの関系

が紹介に徹底して必然いのでは、 
の断を絶たない状況であるなど

国保の遊技が世間より聞みられず

して、其の子弟の背斑も数の如く

第一級に随せ取じてをる現在に 度の質的があり、先には原徒も

だとは、従来のやうな将へ方で

際と前き過度、家族などの役も

最相談相手となって強くのか何 金野中の内容に付て、良く理 の方があったり、咳は又酸酸せる

は否めない質問であるが徹后側をつかれてあるの

國班長や、町食養、部落門長など

指導者や世話役の方々に応て、駅

的であつて酸時生活を辿じて直 接続力の地間にお役に立つやう

前線の覧をとて、野

★ 運動開始

の向足後、長局野大

聖地に耐る

必勝斯願祭 護國神社で

意に 題が任大野島 東人名美国西

東国民多数型別、東ケビの開放と 製品競争必勝所顕名は、廿四日、半島残譲の神経まる種関神社の大

時間に使いては、一貫五社の英葉」に、成は長端線の輸送に、身を

施して原理特長に労力活躍され

について大型左の如く放送した。

だいていと概かに執り行ばれた。

かと続い行はれ、我等一個の国軍 される時間神世界の恋時大祭が経

の職を解けると共に打つて一丸 つつむる脈腸の方々に関し、隣形

は、合同の一家人経過問題節

戦力を増弱するものである

國民権力総盟初め諸軍権に応て

世芸、職員の職、職 独一は『生産力を指揮すること』

かな接護から

思ふ行分に戦いて強くためには、

士墓に如何に大きなは個を及ばす

國家

も発明を定

ける先ついいなことである

例へば推塡扶助付とて開車に申

ては、其の家族の生活は勿論 せらるる川東滑兵の方々に掛し

理せられた方が、肉乳の高に吹 が一条が生活に困つてをられる 住すの時間の特に就贈すること しまと、関連人となって図 聞かれた場合、これが削減性気の ならる状況にあるなどのことを

石炭、軽金属などの場所が直接に である、飛行機、歐阳、大河共の

となり戦後の度続気途に根内の労

村の人々に対し、各々が心質せる

の原則と常り南部地士や、岡山原

殿垣人間の道法、出社昭石

一般の赤脈を与て、関側面人や、

かは視像に難くない所である

問題も、一般の人々も相共に

場合とが、肥展国人の選供や、

京子覧と紹へ、自日出つるこ とを開いてきれる方が多い数

佐架は往々無掛扶助を受ぐること

帝國取人としての本分を十二分

に接組せしむるやう、その家族

既は規律法職長差して名群ある

SH III

號

月 Ŧi.

付ては、同等心配をして頂かな

いやうにとの考へ方である

内地に劣らるる個人指腹の間化

に通道して行かわばならぬ

政は文之時の家族の中に不認が 生物に困つてをられる場合とが

強と大部分が内加人であつて而数の特別志願長用身者を除き、 開辟の単人接触質同点情めて少 軍援は銃後の責務

四級の徹底的終行に就て力限く呼

道語の行動を向しながらなと**応じ** 

ますると共に世界に組みなき見図

日本に生を言いた河礁古を縁んと

先つ第一に一区階の信念を結る路 回くしまればならぬ、それには 力を呼ばすべる。は各を調が上にも

密度おり一般を代表して韓橋力配 関末務局無其の玉田の密駅があつ

て物画、同士時日十分前期祭の帰 は浦りなく終った「日海ー・藤岡神

際でる大明である。此の一致に原

り我無統役の新は選集幣兵の方々

きる必解の過念の気が然と目

恋く併出し得くき最高を 家庭に於ける日用品の中にも、

に関けて調味とると世界地

忠勇無双、一身を大元加留下

関係上、関家、公共国と於ける に比較しては極めて少なかった

> はおない、他で明確における極 地との統計道路の関れでたられ 職保相扶の概念を抵削とする私が

相当たいが、東事扶助は他の公司 たおく方は心に立場なおく方には、に見続けられるのである。かうし

間を致し必勝酸勢の確立に新規

の方々に対し心からなる原教や 的級に残り出してをられる家族 の接続に因過度な老を削し、交

20世紀から云があ少く一動民衆 一般の飛化に付いては、先づ一

助をなすとが扱も肝災はとである 万と刺しては然既の確ったは間歐

くすると、が必要である、この回

突縮の確保は真言義リーの胸部出

東京電話」故海軍少佐音观

清限中的九時環境に到着、 九時廿五分とは柳内三蔵下をは

をその食べ用機いで、初勤間の~卒後。1年組にそれぐ、動務してあって民営で結ばれた失道の友腔一前室で残傷后、修聞上導兵は満工 前等で機管局、條節上容丘は落工 たは首田上雪丘は高朝卒業代人然 質しく色彩つたのである 話題となり同病院の部門となり

職院者の英機能印、女子殿員代

られた動脈経脈式を送行した

と新し資料的深計級助と前點を のは関定要失などの第一公協、 局、日常の戦な気米、 |重要の数||五十六名な表形する

変わったンをなど素物の混入

大々一定の間に依って 金の開選に同うてをられる場合。でて買ひ戻いのである。 の動、生態型、茨塔铁助金など **阿里,助西公,** 坦 手不足を捕び、防寒であれば同葉 際家であれば共同耕作に収つて入 する金光泳和氏(る)だ、十九の

潜水と

真響

で を辞

生衆の級数に物質はせて たは大正十三年、九次の

親と上海に渡り敷育も同地

接続はばらもあるのである 港の内から順番に手順ひをするな と、手近と市る相関と変行出なる 終りに投資ニデ五百萬半局官民 て、明の人祭を爲すべき名誉め は、東京側茂書館の第一年2点 限しつくある関係権特別に附長しめ、文献と入咎して単純に がた恩覧器 がざねつにおいます。

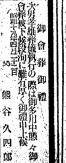
の確定【制度=収光氏】 の確定【制度=収光氏】 の確定【制度・収入工出した手紙 がこんなど早く實金額からに即 うれんが、南部、東成白菜など豊 今後の野菜がないくなにた、ほ 台所にどつと野菜

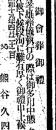
距離を同めたのである、 金 ・ 主なる放送日

1 四百九十九四十六鐘 四百九十九四十六鐘 【张行機蘇納茲包】十萬一千四 【咖芸班二千七萬一千七萬八

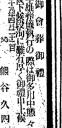
生 隣 組

・戦時榮養食と ・戦時榮養食と



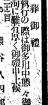






















中經痛

用服內

スルプンプナ 円宝甘富一





農管年の世紀の出徳を激励し、併せて時局認識の一端を果す行事を

全收入を捧けん

遺家族へ金川さんが火の玉軍接

中國民變物落在然▲三等浦運浦 中國民變物亦以選手▲一等裡里日

肺浸潤 肺門 肺炎√ニップリ肺結核 肺尖 肋膜<

由からにせよ、小さい時からの決プしかし、面白い男だ。とんな理

今日まで願べるないだけで

**酞服療・二日分一円・淡料共(切手代用可)** 

薬門事の時は経

ぶからこ人に掲載します。一部内服の夕刊に載せてる。

大家の話を聞き、自分の妻や娘の

大阪海通石田市温泉 大阪海通石田市温泉

E

海

0

書

(金) 李無影(作)

項町層實理物吉原領領(以下略)

墨度全員を参加せしめて劉期的

な行事を意義あらしめたいと思

乙女の眞心籠る慰問帖

寺を防れ、藤原の英郷の塾拝を行 軍事接載者を訪れ、提進監察の実 生徒六般に分れ軍司之帝、京城府

を水に避したことのない男が、今から、未を管で手と足以外の部分

けふまでの梗概 と忆致しました。

こいふのだった。

と、ひどく氣に入った形で

仁川の軍

れ相應の数箋も身につけてゐる知

歩くいって、震戦教育をうけ、

その崔大泳に興味を持つてゐる

銓書資

第(1))程令號工大才以上「十五字名 第(1))関係器(1)多元定明第 第一五月二日等日午前五湾

會

勝

日、京城の街に住んである。後大

舞鶴高女生らが前線將兵に贈物

局観念の低調が指摘されて検査場 に変を現はし我が見、わが弟の時

に引比べて家庭では著しく時

行するが、この選びの商場には親 出産祭町、加藤神飼では廿四日 加藤神祠春季大祭 たせる壮丁皆年を前に『わが 部日の普場を順はさうと着々 日爾場の同處を許し受職者を激励を対して理 せしめ世紀の後足を築えあらしむ さん、うんと頑張って下さいね。 を初め國民學校上級生徒及び生了 態機、第三高女を含む六中等學校 ることくなった。右について市木 所では管内の城東中學、京城商業 し無営の関みを與へるため同 軍人猿遊飛側運動行事の一つとし

慰問展入選發表

◆審土大祭師で園園造製、五菱園、駅町、母子の駅の窓を図るなめで、最高級成功行費などを電庫すり、配置機械が指行した「かは五月一日から十日間 記載器」る。 へ豪手大祭師で國威宣揚、五聚題 決戦下における出生瑜加、結婚の 府が愛護運動

健かな兒童へ | 警覧| 電筒、蝦栗を影

ことはなってゐるから各家庭では上き練習願査をも行ひ本願査の完度を



調動員して世際活躍、柱の地村、人口の概 開闢後として二十五百餘名の人口調査員を◆

信賞必罰主義を强化

| 関連の量がないことを目下窓が、所内部ココッセント | 関連の量がないことを目下窓がれて高原所数の影響を進むて | 世界を応じてある。 | おおれて高原所数の影響を進むて | 世界の | 日本の |

人であらうが、なほ一層又省して 見ても所民が緊張してあるとはい 場者が六萬に上るといふがこれを

期す

婦人の

日婦が各地に指導主事を任命

と響告したのち都市の防衛と疎開 でなく一般の風紀についても敵

京城交通從事員養

運輸、工務の各部門にわたる従事 員の短期養成と再教賞を行つて來 京城地方通局では従來中央交通 從事員養成所内の事修部で運輸

從事員の大衛急速養成の必要から、新幾定することになったがその後

精ジス、茶般は開いた葉のまま水 校科一茶器、生姜少々、酱油、砂 物小匙一杯を開味料と、みぢん切 四回分集めたら醤油大匙三杯、砂 東を切り急強(一令人位)に三、 家庭問答 と

集されました。 今後の最初期係は どうなるのでせらか。 間/今回第二補充兵として召 · (龍山區一生)

規の取扱方法を周知被底せしめる 員の基本給料増加支給に関する法 時から回避曹陽等に街内該當世番 計画保着を沿集してこれが周知

のも製作する見込である

きまぜます、これに関少々を入れるび、蝎と等とかき場所にします 茶般を一たん蛇かし野菜、さくら 有合せのもので結構です、煎茶の さくらえび、鰮)等お野菜は何でも

神力と活泼な活動力を以て事に

全の施策をたてられてある。

さと答べた、ところが〇〇業

ぐそこの〇〇栗局に動めてるま

その呼ばを有難くうけにがら、

設置りしたが、到頭四五町先の

を育年が言おはひりなさい。と、まで送ります、といふ、それで

碧

なものを選んで挑唱がこれるめ、

しておかねばなりません、そして

哲中語·蒙 注周李

以上のやうな防衛食の中から測盤

去る日降り出した前に満れな。同に曲る角まで來ても、自分の

あることは申すまでもありませ

やうに考へられる向があります」べられるもの

ところで防衛食と申し至すと何

一、火を用ひなくてもそのま またカピの生へないもの 一、貯蔵がきる虫がつかず腐らず

(で) 副食物として

際子は、重豆腐、炒り豆、味噌

2

たちは破機が來るなら來てみ

我家の貧糧を確保しておかねばな 面しても難じて渡敗しないやうに 速ひであります、たとへ取機の空 食物の能への要はないなどとのん

松料=茶般、人巻、ほうれん草、

とよりありません(京城兵脈部)

ひまずから家族敷に限じて少くとしなくてはなりません 意須に三、四回分を集め、乾かし て包事の際に役立たせるやうにし される防衛像は必ず保存しておい もので風味をつけます 茶穀のかき揚げ 茶敷の佃煮

三、かさばらなくて持ち歩きに軽 しなくてはなりません、主食物で一も一一三田分は用意しておきをい 食物は一人一食一〇気位で間に合 したら一人一食分としては大傷三 ロー四の処位で結構です、また副 ものです、それから町寶等で配給

四、架震があつて買いもの

空襲時の防衛食

至を強担して防一、終節の歌・りなまないようにうな私たちは空襲が一いって私たちが家庭としては何も 平素の用意を怠るな

さな考へを持つことは大きた考へ

みかんの皮、鰯、作り方は茶殻を

(イ) 主食となる食品

どん、底パン、切干諸、院いも妙り米、楽ごがし、煎豆、干う



は番茶)線の幣(いわしの頭等) ふりかけ食 株郷一版 芥子の質や見市の粉等手許にある

のを粉にし、粉魚、茶酸粉とよくか **鉢で摺り、みかんの皮は乾したも** 

答、今後の兵役開係は召集前

稅務懇談會

天然症發生一般內城東區

に簡減し割ま店としたが、それが い問題で、一統料理店を三分の一 たが現下の輸送の重曹元差のため一打つて一丸とし温度分割を結成、 成所の開所式

對し例を上げて殴った。まつ「暴 新、都市陳開など記者図の時間に 面の自職と風紀問題、都市防衛院 関部長は最近の衝察行政、享楽部 廿四日午前十一時部長室で行った

開所去は午前十時大陽局長

一日午前零時 洗れるな

義を強化してあること、さきに続 布事件で聴聴せんとして失敗した に売めてある婦人の指導に寄至を | 民郷院で駆行した 欧語して墾行、第一回の入所生は

について遊べ年後一時過ぎ會見を 期するため日帰朝鰕本部では各道 必勝生活指導主事を聞き、各府

して割示を述べ次いで京城支部

同三時散會した

街の献金隊目白押し

會員百計名参集して、鍾路區聯

各所が語の職員を住命、自帰曹々財政の許す限り立派な人物を選び 受害氏を指導主事に迎へる一方

會の發會式略四十月、 郷軍昌慶分 在郷軍人曾興

て京城府軍人援護曹に寄附した

の百分の一糖額二子國を輸出し、本部及び各島党所職員一同俸給

ルヨさんは先日から洋親見答生ルヨさんは先日から洋親見答生

江華一府三郡の家庭用並に業務用 八月の衛人川府、河流、蒲、 八層道年度第三期分(自五月、至 一されたものの内五十一園四十八日

酒配分協議會

『あいっは悪魔と

地區巡測配給組合では昭和十

事に奉仕作業を行ひその間に給與 既君以下00名は、一万月間、軍工 京城府第一回勤勞報國家金森征一

傳ひ、そのお闘金百興を軍人接

機構八百四十一個を海軍航空機製 作資金として廿四日鎌路者に各託 そるる 家庭用四割、業務用六個分減とな 松務署曹麗室で開催し左の通り決 酒類配分 協議會を 廿一日午後

李栗谷母堂を劇化

撮にいちだんの注意が望まれると 流行病の遊売期に入り屋内外の清 き成果警察署では次の日割で科学 貯蓄增强要綱 役員に配布 近く各町會

意し牧山端末氏と脚本を依頼『李

城東區淸掃日割

沙斤、金湖、玉水町▲世日新堂 全部▲廿八日杏堂、噩隆、馬場 || 四月廿七日上、下往十里名町 || 國民貯蓄増强方策型綱を施定しこ を小男子に記嗣し各国面景保護に 登送したが、これが第 1弾として れが末端遺迹を願るため方策型調 る道理球線ではこと十九年度

イピスト採用

元子の一部である。

子を目下印刷中である。簡第三、 ンフレーの解説等を機能した小田 既との動脈、大線大臣の影話、イ を組む各連の目標部、内地各部府 反等の指導層 ース第一百三號内容に次の遊り 來朝、印度國民軍陸續前線へ、二 質羽焼英の航旋す、比國アキノ氏

第四と労働者権、機能等を狙ふる

新堂町二三六金城思雄君ごとは十 天然型と診断され順化

成尤氏(三) は新設町北高砂町々會 東大門區新設町三五四ノ二三金川 火の玉の赤賊を砂礁した軍事援職|族を守らうと東大門署を訪れ感浪 生計を援

手懸品及び闘濫作品、鮮肉女爆疫

ので同器では目下順重岩窟中で

氏れの家のはあまり生活な機会でいた。 が成人を、地様には対があり、そのうち五戸位 はあまりまでは、このでも五戸位 一路の傍ら大衆食堂でも継続し、そ を感激せしめた の收益金でお図を聴った勇士の家 一國民校河合用一郎 (以下略)

皺を盛りあげて始まつたが、郷傷 響の家を襲つて前級将兵に心配を一て作成したご女の襲心こもる激問 高女ではこの日教休みを利用して 生徒一同が撤問文や歌問題を集め かけぬやうにしませうと、軍人援 徒が強へて、夕前談將年に送って下 帖四十五朋を河東先生ほか代表生

州では先づ午前十時から仁川神心

**態感や容易はいふまでもなく、** 

は父との約束を全く無にしてゐる。彼女 **場柱の二番娘で相勤の妹にあたる** のは、林陽柱たゞ一人をけでなく

との交際もよかった。たゞ極って一兄が、気になってな」なかった。

大前に池田府井、藤川警長を初め

連唱 開題 運動が展開したがこの日 に 廿四日を押して全殿一郷に導人授

官民多數參列して量軍の武烈長久一

嬢ひだけのご

大時からの一回に同じ公園堂で激

については頭 遊は、その

として口を割

皆ぐるに従ひ、町會と府區との運 嘱託を配置 各町會に府 融入急迫を さい。と朝鮮軍変國部に散納した 挨拶廻り 音を力弱く朗語し戦線にとどけ 発売大佐の割示並に黒木舞路

を一層緊急化して町咳の耐新程化 配し、町會と府區との有機的運業 今回各町會に府職託を一名づく 聚は高々重要であるので、府では

彼が中華二年の館時駆使から漢江

第子は、既に一度、兄と一緒に歩

求貸倉鹽製

村田藥房

医学博士 交仁柱

文 夕 末 教岩町三仙橋電停購 電東 ⑤ 1657 X光線、入院随倉

四原(金里) 人院隨意

推獎

城職業紹介所

一、其他) 二、河湖湖北地流河湖南东州 (四) 大夕月後49 三〇四段以上 (五) 原常河南西市

出版化力工事株式會社

とう

立話をしてゐる傍に立ち會つにこ

町の入口で、何か世帯道点らしいともあるし、ある日の夕方には本

写男女

小使數名募集

業進すべく決意を新にしてある 共に戦意を閉場し、生産増加に

室に 管内の 町會主席 第番員四十八 鐵路署では廿四日午夜一時、恋養 一元的防衛へ 秦隊結成式 在仁華僑の中華動

に乗り出すことくなった

腹勢の認識を徹底せしめるととも 証義のもとに一元化された新防衛 空事務打合會を開き、警察署長の 名を集め伊坂署長司會のもとに防 世一日午中中時から二川、連席小 仁華僑の中華勤勞仕奉際結成式は 著ると全殿に附げて 起上つた 在 して循胞米、英な吸指はずんはや

題について順意なき意見を交はし に空の護りの完璧を嗣る種々の問 地東局長、陳川州家路長其他日落 塵夜々庭に於て王随當領事、田中

歩武堂々と市中行進して仁川神社 大に墨行し、終了後條旗を先頭に **隊員の勝ち扱く意案も高らかに盛**官民 多数参加の下に四百五十名

作業に毎身してある。 五年來は銀行に勤めて、たぶ金を

した長男の態度に不渝を持つて

大形を呼び出すため、翻理場へ廻まれて动たことに気がついて、密まれて动たことに気がついて、密 能の動めてゐる風役へ尾音 金藤女帳場る人用

作品験される関係の主旨で 朝鮮石田薬品靈

耳鼻咽喉科 电学博士

東城公平町三六 春光671

(1) また 朝鮮後野カーリット

金属代替特殊銘板

樂草縣

日本特殊銘板工業株式會社際市製區局町二丁目九番地

行南方共榮慰、大陸 大日本海外青年。曾

第二条 電影所館版町田 別、薬所・ ・ 東京都総会開版「日」製、薬所・ ・ 東京都総会開版「〇八」 ・ 東京都総会開版「〇八」



一、求人者

おります。 ・ 別鮮(七友經)金屬株式 會社 ・ 就 業 地 咸南文川郡北城市 ・ 深用総種 へ地人監督基備員 敷 名 ・ 深用総種 へ地人監督基備員 敷 名 ・ 深用総種 へ地人監督基備員 敷 名 ・ で輸 員、(内鮮人男子を敷) ・ 電氣・機械・製圖關係ノモノ) ・ 電氣・機械・製圖關係ノモノ) ・ 電氣・機械・製圖關係ノモノ)

工場從業員募集

成興職業紹介所

電話光<sup>©</sup>は大の で成画が用町四 京城画が用町四 京城画が用町四 京城画が用町四 京城画が用町四

毛・はや・新療法 翌知解祭権市西八町九十二 森下みや子

朝鮮米教會庫大大會社 京春鐵道株式會 社

大大・布二丁

展 田中丸病院 田中丸病院 1四十九病院

医学博士 安田書 京城即二(三季東町山)電話 本局 ②四九五路

之下部

日現も

器電

**致造技術講習會**